光明中学校だより

ひかり 明るい みんなの笑顔 心がステキ 光明中　～人と人のつながりがたからもの～
令和８年度　第１０号【１１月２日】　生駒市立光明中学校　校長 斉藤 稔

体育大会を終えて

前日から降り続く雨、そして当日も雨予報。予定通りに体育大会を実施するべきかどうか、最後の最後まで悩みました。しかし、その時、私の背中を押してくれたのは、「生徒たちは今日という日に照準を合わせ、一生懸命頑張ってきました」という教員たちの熱い言葉でした。生徒たちの努力に応えたい、その思いで開催を決断しました。

当日は心配していた雨も降ることなく、暑すぎず寒すぎず、まるで生徒たちを応援してくれているかのような最高のグランドコンディションの中で実施することができました。競技では、学級や学年で積み重ねてきた努力の成果が随所に見られました。仲間と力を合わせる姿、最後まで全力で取り組む姿、勝敗を超えて互いをたたえ合う姿。そして、自分の出場する競技でなくても立ち上がり、懸命に仲間を応援する姿に、何度も胸を打たれました。

担任の先生方も加わりながら披露された３年生の創作ダンスには、３年間の光明中学校での思い出や仲間との絆、そして支えてくださった方々への感謝の気持ちが込められていました。仲間と顔を見合わせながら見せる満面の笑顔は本当に輝いており、その姿に胸が熱くなりました。

保護者の皆様、体育大会ではお忙しいところ都合をつけてお越しくださり、ありがとうございました。２００名以上の保護者の方々、地域の方々にお越しいただき、生徒たちにとっても大きな励みになったことと思います。また、温かい拍手や声援は、生徒たち一人ひとりの挑戦する勇気につながったことでしょう。生徒たちはこの体育大会を通して、仲間と力を合わせることの大切さや、最後までやり抜くことの尊さを学んでくれたことと思います。こうした経験を自信として胸に刻み、今後の学校生活や将来へとつなげていってくれることを願っています。

後日、３年生が国語の授業で取り組んだ体育大会の俳句を紹介します。

くいしばる
顔の気骨に
天高し

地踏みしめ
渡し渡され
秋つなぐ

ズルズルと
心引きずる
綱の跡

秋風の
吹く道の先
人は無し

体育祭
絆深まる
バトンパス